

問題分類アノテーション仕様書

2013 年 5 月 21 日 版

目次

問題分類アノテーション仕様書.....	1
1 概要	1
2 アノテーションの付与	1
2.1 answer_style 属性（回答方式による分類）	2
2.2 answer_type 属性（答えのタイプによる分類）	2
2.3 knowledge_type 属性（必要となる知識に基づく分類：複数選択）	6
2.3.1 社会・理科系科目	6
2.3.2 国語	11
2.3.3 英語	12

1 概要

本仕様書は、「ロボットは東大に入れるか」大学入試センター試験関連オンラインタスクにおいて配布される「センター試験問題データ」に対して付与されている、問題分類の仕様書です。当該データにおいては、1)回答方式、2)答えのタイプ、3)回答の際に必要な知識の三項目について問題が分類されています。

この文書に出てくるアノテーション例はすべて、1990 年～2011 年の大学入試センター試験の問題を利用しています。なお、問題構造アノテーションの詳細に関しては、「問題構造アノテーション仕様書」をご参照ください。

2 アノテーションの付与

問題の分類は、各問題をマークする<question>要素のうち、それ以上小さな問題を含まない小問（minimal 属性の値が yes のもの。詳細は「問題構造アノテーション仕様書」を参照）に対してのみ行われています。複数の小問のまとまりを示す大問等は、問題分類の対象ではありません。

分類対象の問題においては、<question>要素の以下の各属性に対して値が付与されています。

<question> 問題の範囲を表す

@answer_style 回答方式による問題の分類。

@answer_type 答えのタイプによる分類。minimal 属性が yes の場合のみ指定。

@knowledge_type 回答の際に必要な知識による分類。minimal 属性が yes の場合のみ指定。

2.1 answer_style 属性（回答方式による分類）

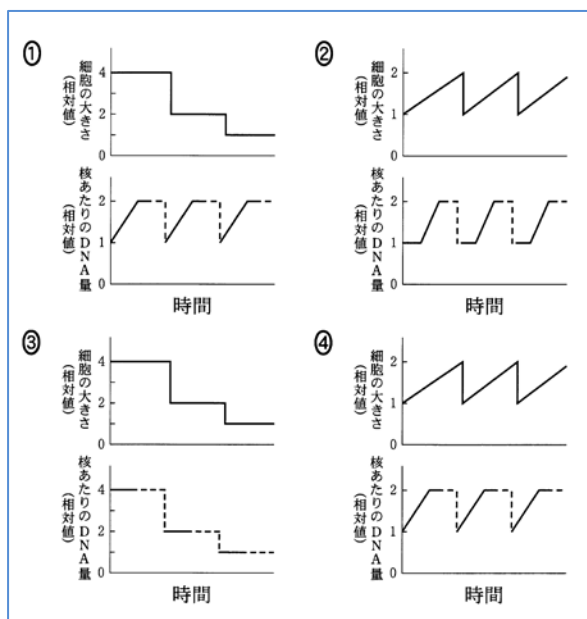
answer_style 属性の値には、以下の赤字で示された値が入ります。値の数は原則としては一つですが、まれに複数の場合があります。

1. **multipleChoice**（選択式）： 選択肢の中から正解の番号・記号を答える問題（マークシート含む）
2. **description**（記述式）： 答えを語句、数式、あるいは文章の形で記述する問題
 - (1) **description_limited**（記述式_字数制限あり）
 - (2) **description_unlimited**（記述式_字数制限なし）
3. **drawing**（作図式）： 作図によって答える問題（化学式、数学図形等）
4. **other**（その他）

2.2 answer_type 属性（答えのタイプによる分類）

answer_type 属性値としては、以下の赤字で示された値のいずれかが入ります。値の数は原則としては一つですが、まれに複数の場合があります。

1. **sentence**（文、文章）： 文、文章、文の一部。書き下し文、翻訳文も含む。「高い」「低い」「小さくなる」「右向き」などの表現も、省略された文として扱う。
2. **term**（用語）： 人名、地名、その他の専門用語。「1989 年」のような年代を表す表現も含む。以下の(1)-(4)の中からいずれかを選択。
 - (1) **term_person**（用語_人名）「徳川家康」「ボニファティウス 8 世」など。（ただし、英語・国語の長文問題の登場人物は、**sentence** とする。）
 - (2) **term_location**（用語_地名）「オーストラリア」「東京」など
 - (3) **term_time**（用語_年代）「江戸時代」「1989 年」など
 - (4) **term_other**（用語_その他の用語）「DNA」「花崗岩」など
3. **referenceSymbol**（参照記号）： 「ア」「a」など、試験問題中の下線部や空欄等を参照する記号。
4. **image**（画像）： 画像および画像内の位置。以下の(1)-(5)から最も適切なものを選ぶ。
 - (1) **image_graph** 選択肢の画像がグラフである場合（*縦軸と横軸に「時間」「距離」などの意味が明記されているものに限る）



- (2) **image_photo** 選択肢の画像が写真である場合
- (3) **image_map** 選択肢の画像が地図である場合
- (4) **image_table** 選択肢の画像が表である場合（選択肢群全体が表である、あるいは表に含まれている場合を除く）
- (5) **image_other** その他の画像
- 5. **formula** (数式、化学式、数値)
- 6. **orthography** (文字・カタカナ表記)： 文字、カタカナ表記、発音記号、レ点など、言語表記に関する付加的情報
- 7. 上記 1-6 の「組み合わせ」：以下の表記法に従って記述されています。
 - (1) 「-」(ハイフン (半角)) を使って、組み合わせを記述しています。例えば、文と文との組み合わせは、**sentence-sentence**、「①江戸幕府を開いた — 徳川家康」のような文と用語との組み合わせは、**sentence-term_person** のように記述されています。
 - (2) 三つ以上の組み合わせについても「-」(ハイフン (半角)) を使って、**sentence-sentence-sentence** のように要素をつなげています。
 - (3) **referenceSymbol** は、「組み合わせ」を表記するときに限り、**symbol** と表記しています。
 - (4) 以下のように、年代順や反応順など、組み合わせが時間的な順序を意味している場合は、全体を「()」(半角カッコ) で囲み、最初に **o** を付けています。

問2 表2に示された実験結果から推定される生合成の順序はどれか。次の①～⑥のうちから最も適当なものを一つ選べ。 10

- ① アントラニル酸 → トリプトファン → インドール
- ② アントラニル酸 → インドール → トリプトファン
- ③ インドール → トリプトファン → アントラニル酸
- ④ インドール → アントラニル酸 → トリプトファン
- ⑤ トリプトファン → インドール → アントラニル酸
- ⑥ トリプトファン → アントラニル酸 → インドール

answer_type 属性値 : o(term_other-term_other-term_other)

問8 下線部(8)に関連して、1919年の出来事が、起こった順に正しく配列されているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 28

- ① パリ講和会議の開催 → 五・四運動の発生 → 中国国民党の結成
- ② 五・四運動の発生 → 中国国民党の結成 → パリ講和会議の開催
- ③ パリ講和会議の開催 → 中国国民党の結成 → 五・四運動の発生
- ④ 五・四運動の発生 → パリ講和会議の開催 → 中国国民党の結成

answer_type 属性値 : o(sentence-sentence-sentence)

問3 下線部(b)に関連して、政府の農村に対する政策に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、以下の①～④のうちから一つ選べ。 22

Ⅰ 米の供出制、次いで配給制が実施された。

Ⅱ 地租改正条例が出された。

Ⅲ 地方改良運動が進められた。

- ① Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ ② Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ ③ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ ④ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

answer_type 属性値 : o(symbol-symbol-symbol)

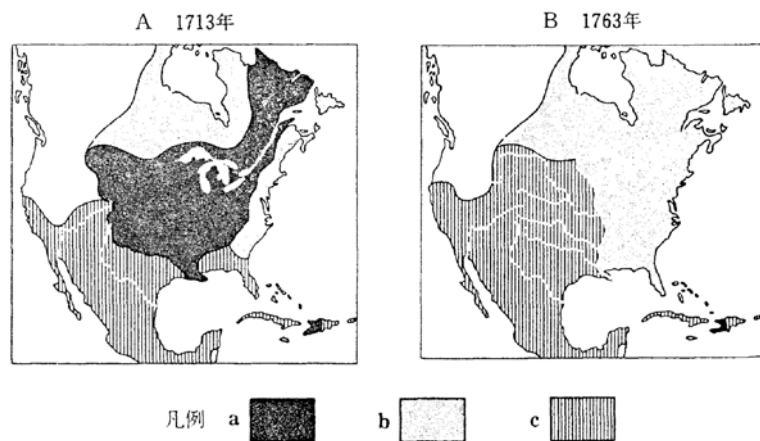
- (5) また、以下の例のように一つの選択肢に同じタイプの組み合わせが複数出現する場合は、全体を「()」(半角カッコ)で囲み、最後に「*2」「*3」のように組み合わせの個数を記述しています。

問4 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ウ 生糸 エ 水力 ② ウ 生糸 エ 火力
③ ウ 綿製品 エ 水力 ④ ウ 綿製品 エ 火力

answer_type 属性値 : (symbol-term_other)*2

問9 下線部(9)に関連して、スペイン継承戦争終了時(1713年)と七年戦争終了時(1763年)の新大陸における列強の版図を示す2枚の地図A・Bを見て、a・b・cの国の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。



- | | | | |
|---|----------|----------|----------|
| ① | a = フランス | b = イギリス | c = スペイン |
| ② | a = スペイン | b = イギリス | c = フランス |
| ③ | a = イギリス | b = スペイン | c = フランス |
| ④ | a = イギリス | b = フランス | c = スペイン |
| ⑤ | a = スペイン | b = フランス | c = イギリス |

answer_type 属性値 : (symbol-term_location)*3

問5 下線部(c)に関連して、グラフに関して説明した次の文X～Zについて、その正誤の組合せとして正しいものを、以下の①～④のうちから一つ選べ。

X 1910～13年の貿易収支は赤字だった。

Y 1920年代の貿易収支は黒字だった。

Z 1930～31年に輸出額が落ち込んでいるのは世界恐慌の影響である。

- | | | | |
|---|-----|-----|-----|
| ① | X 正 | Y 正 | Z 誤 |
| ② | X 正 | Y 誤 | Z 正 |
| ③ | X 誤 | Y 正 | Z 誤 |
| ④ | X 誤 | Y 誤 | Z 正 |

answer_type 属性値 : (symbol-TF)*3

- (6) 選択肢の形式が表になっている場合も、組み合わせと考えると、上と同様の方法で値を記述しています。例えば以下の例では、各選択肢を「① ア — 白く濁った イ — 変化なし ウ — 水の表面に浮いた」と同等とみなします。

問4 試験管に濃いセッケン水を取り、次の実験ア～ウを行った。実験の結果として最も適当な組合せを、以下の①～⑧のうちから一つ選べ。 4

ア 塩化カルシウム水溶液を数滴加え、振り混ぜた後、セッケン水の状態を観察した。

イ フェノールフタレイン溶液を数滴加え、振り混ぜた後、セッケン水の色を観察した。

ウ 食用油を数滴加え、激しくかき混ぜた後、静置してセッケン水中の油の状態を観察した。

	ア	イ	ウ
①	白く濁った	変化なし	水の表面に浮いた
②	白く濁った	変化なし	水の中に分散した
③	白く濁った	赤く変色した	水の表面に浮いた
④	白く濁った	赤く変色した	水の中に分散した
⑤	変化なし	変化なし	水の表面に浮いた
⑥	変化なし	変化なし	水の中に分散した
⑦	変化なし	赤く変色した	水の表面に浮いた
⑧	変化なし	赤く変色した	水の中に分散した

answer_type 属性値 : (symbol-sentence) * 3

- (7) 選択肢群の中で、一つ一つの選択肢の組み合わせパターンが異なっている場合（例えば、「①A と B と C ②A と B ③A ④該当なし」のような選択肢）については、例外とみなして **comb_other_1** という値を入れています。

8. **other** （その他）：上のいずれにもあてはまらないもの、あるいは分類が不明なもの

2.3 knowledge_type 属性（必要となる知識に基づく分類：複数選択）

2.3.1 社会・理科学科目

以下の赤字で示された値から、該当するものをすべて指定しています。

- KS** (Knowledge Source、外部の知識源)：解答のために、教科書、参考書、wikipedia 等にかかれている知識を必要とする問題。
 - KS** のみを付与される問題の典型例は暗記問題です。「～について述べた文として正しい（あるいは誤った）ものを選び」「～の名称は何か」のような問題や、空欄に用語を穴埋めする問題などが含まれます。

● (例：KS を付与する問題)

A 細菌に感染するウイルスの一種であるバクテリオファージは、外殻(殻)を構成する **ア** と、内部に含まれる **イ** からできている。ウハーシーとチェイスは、バクテリオファージを用いた実験によって、遺伝子の本体がDNA(デオキシリボ核酸)であることを示した。

問 1 上の文章中の **ア** ・ **イ** に入る語として最も適当なものを、次の

①～⑤のうちから一つずつ選べ。ア **1** イ **2**

- | | | |
|-------|--------|---------|
| ① DNA | ② 炭水化物 | ③ タンパク質 |
| ④ 細胞膜 | ⑤ 核 | |

問 2 下線部ウのハーシーとチェイスの実験以前に、遺伝子の本体がDNAである可能性を示した研究結果として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 **3**

- ① ミーシャーがヒトの傷口の膿^{うみ}からヌクレインを発見した。
- ② ワトソンとクリックがDNAの二重らせんモデルを提唱した。
- ③ モーガンらがキイロショウジョウバエの染色体地図を作成した。
- ④ エイブリー(アベリー)らが、肺炎双球菌の形質転換を起こす物質がDNAであることを確かめた。
- ⑤ メンデルが遺伝の法則を発見した。

2. **RT** (Reading Of Texts、資料テキストからの判断)：問題内の資料(テキスト)を参照・理解し、そこから判断をしなくては答えられない問題。

- 問題文に「本文の主旨(内容)に合致する記述はどれか」「本文の主旨を踏まえたうえで答えよ」「史料を参考にしながら答えよ」のような表現がある場合、この値が指定されます。
- (例：RT を付与する問題。)

問 8 本文全体の趣旨に合致する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 12

- ① 理想の実現を目指すとき、死によって、それまでの努力が無になるかもしれないという不安がもたらされる。しかし、死後の可能性を考えることで、死後にまで善き生が続くことが期待できるようになり、この不安は克服されるであろう。
- ② 理想の実現を目指すとき、死によって、それまでの努力が無になるかもしれないという不安がもたらされる。しかし、先々の成果を期待することなく、現在の自分の生をありのままに肯定することで、この不安は解消されるであろう。
- ③ 人間にとって不可避の死は、理想の実現に向けて行っている現在の努力を無にするかもしれない。しかし、死について様々な仕方考えることによって、現在の生が照らし出され、今を善く生きることの大切さが自覚されるであろう。
- ④ 人間にとって不可避の死は、理想の実現に向けて行っている現在の努力を無にするかもしれない。しかし、死や死後のことは不可知であると自覚し、それらに囚われることなく、今を善く生きることそのものの意義を考えるべきであろう。

3. IC (Image Comprehension、グラフ・図・写真などの画像、表の読み取り)：グラフや図、写真、表から情報を読み取らなくては答えられない問題。

- 日本史・世界史では、「この表についての記述として正しいものはどれか」「このグラフから読み取れることはどれか」「図を参考にしながら答えよ」と明記されている問題にのみ以下の IC_G, IC_P, IC_M, IC_T, IC_O のいずれかを指定しています。
- その他の社会系問題・理科系問題では、問題の中に画像を含む問題、あるいは問題の前に出てくる画像を参照しなければならない問題すべてに対して以下の IC_G, IC_P, IC_M, IC_T, IC_O のいずれかを指定しています。ただし、問題を解くにあたって明らかに関係のない画像であると思われる場合には指定しません。

- IC_G グラフの読み取り
 *縦軸と横軸に「時間」「距離」などの意味が明記されているものに限る。
- IC_P 写真の読み取り（絵、ポスター、文書の写真なども含む）
- IC_M 地図の読み取り
- IC_T 表・年表の読み取り。画像形式でない表も含む
- IC_O Other（その他。概念図など。）*ゼロではなくてアルファベット大文字の O

4. GK (General Knowledge、一般的知識)：上記以外の知識が必要なもの。たとえば一般的な知識（教科書に書いていない世界知識や日常生活における知識）が必要。

- 実例を挙げる問題、概念と具体例を結びつける問題などはこの分類に入ります。問題文に「～

の具体例として最も適切なものを答えよ」「日常的な場面との組み合わせで最も適切なものを答えよ」のような指示が入っているものにはすべて、この値が指定されています。

- (例：GK を付与する問題)

問 1 下線部③に関して、レヴィンらによる葛藤の4類型A～Dと、日常生活での葛藤場面ア～エとの組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 1

- A 接近—接近の葛藤：叶えたいと思う複数の対象が同時に存在し、すべてを叶えることはできない場合に起こる葛藤
- B 回避—回避の葛藤：避けたいと思う複数の対象が同時に存在し、すべてを避けることはできない場合に起こる葛藤
- C 接近—回避の葛藤：一つの対象に叶えたい要素と避けたい要素とが併存している場合に起こる葛藤
- D 二重接近—回避の葛藤：二つの対象が同時に存在し、そのおのおのに叶えたい要素と避けたい要素とが併存する場合の葛藤

- ア ^{ひそ}密かに思いを寄せていた人と友人が結婚することになり、スピーチを頼まれて断りたいが、友人に不審がられそうで、断るに断れず悩んでいる。
- イ 第一志望の学部はあるが遠隔地のため親が反対するA大学と、地元にあるが第一志望の学部のないB大学と、どちらを受験しようか悩んでいる。
- ウ 雇用条件が良く安定した会社の入社試験と、もともと入りたかった劇団のオーディションと、どちらを受けるべきか悩んでいる。
- エ ^{あこが}憧れの先輩がいるクラブに入部しようと思っていたが、練習がとても厳しく時間も長いと聞き、入部すべきかどうか悩んでいる。

- | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア—C | イ—A | ウ—B | エ—D |
| ② | ア—B | イ—A | ウ—D | エ—C |
| ③ | ア—D | イ—C | ウ—A | エ—B |
| ④ | ア—A | イ—C | ウ—B | エ—D |
| ⑤ | ア—B | イ—D | ウ—A | エ—C |
| ⑥ | ア—A | イ—D | ウ—C | エ—B |

5. DM (Domain Models、ドメイン依存モデル)：理科系科目のみ。簡単な暗記だけでは解けず、知識や法則を用いて計算したり予測したりすることが必要と思われる問題。

- 典型的には、計算によって数値を求める問題や、実験の結果を予測する問題、特定の状況を仮定したときにどうなるかを予想する問題に、以下の値のいずれかが指定されます。
- 下位分野への分類は、問題中の語彙から判断されています。(ただし、複数の下位分野にまたがる問題もあるので、複数指定されている場合があります)。

【化学】

DM_C1 化学_物質の構成 (物質の構成粒子 (原子、分子、イオン))

DM_C2	化学_物資の変化（化学反応）
DM_C3	化学_無機物質
DM_C4	化学_有機化合物
DM_C5	化学_物質の状態（化学結合、気体・液体・固体の性質）
DM_C6	化学_化学平衡（反応速度と化学平衡）
DM_C7	化学_材料
DM_C8	化学_生化学・薬品
DM_C9	化学_その他・不明

【物理】

DM_P1	物理_電気と磁気
DM_P2	物理_波（地震波、水波、光、音）
DM_P3	物理_力と運動（物体の運動、平面上の運動、運動量と力積、円運動と万有引力）
DM_P4	物理_エネルギー（エネルギーの変換と保存）
DM_P5	物理_原子（原子・電子と物質の性質、原子の構造、原子核と素粒子）
DM_P6	物理_その他・不明

【生物】

DM_B1	生物_細胞と組織
DM_B2	生物_生殖と発生
DM_B3	生物_遺伝（遺伝のしくみ、遺伝子、DNA）
DM_B4	生物_環境と動物の反応（体液と恒常性、刺激の受容と反応）
DM_B5	生物_環境と植物の反応（調節）
DM_B6	生物_生物の集団（個体群の構造と維持、生物群集と生態系）
DM_B7	生物_代謝（栄養素の消化、光合成、窒素同化作用、酵素の働き）
DM_B8	生物_その他

【地学】

DM_T1	地学_地球内部・磁場
DM_T2	地学_地震・火山（プレート・地殻変化、日本列島の変遷）
DM_T3	地学_岩石・鉱物
DM_T4	地学_地質・化石
DM_T5	地学_大気・海洋（大気と海水の運動、気象と気候、海洋の現象）
DM_T6	地学_宇宙・天体（太陽・恒星・銀河系、天体の観測、天体の距離と質量、宇宙の構造）
DM_T7	地学_その他

【理科総合】

DM_X1	理科総合 A_エネルギー
-------	--------------

DM_X2	理科総合 A_資源（化石燃料、原子力、水力、太陽光）
DM_X3	理科総合 A_物質（物質の構成と変化、物質の利用）
DM_X4	理科総合 B_地球・太陽系
DM_X5	理科総合 B_生物の変遷
DM_X6	理科総合 B_遺伝
DM_X7	理科総合 B_地球の変動
DM_X8	理科総合 B_大気と水
DM_X9	理科総合 B_生物多様性・環境
DM_X10	理科総合_その他

6. **Other**（その他）：上のいずれにも当てはまらない場合、および分類が不明な場合。

2.3.2 国語

国語問題の `knowledge_type` 属性は、以下の赤字で示された値から、該当するものをすべて指定しています。

1. テキストの種類に関する知識

- E** 論説文(essay)
- N** 小説(novel)
- JC** 古文(Japanese Classics)
- CC** 漢文(Chinese Classics)

2. 漢字の知識

- KAN_1** 漢字から読み方を特定する問題
- KAN_2** 読み方から漢字を特定する問題

3. 文法の知識（複数選択可）

- JG_1** 文法的カテゴリの特定（「受け身の助動詞」「サ変の活用語尾」など）
- JG_2** 敬意の対象の特定（助動詞の特定＋述語項構造の特定必要）
- JG_3** 主語・目的語の特定
- JG_O** その他 *ゼロではなくてアルファベット大文字の **O**

4. 表現の意味の知識

- JM_1** 本文中における意味を答える問題（文脈に基づいて意味を特定する）
- JM_2** 空欄埋め（文脈に基づいて最も自然な表現を選ぶ）

5. 読解力のための知識

- R_EXP** 抽象的あるいは比喩的な表現のより詳しい説明・言い換え。
 - 典型的には「それはどういうことか」「どのような状況・状態を言い表したのか」「この表現の内容の説明としてもっとも適当なもの」「筆者のいう～とは何か」と問われる問題。
- R_RSN** 理由の把握

- 「それはなぜか」「理由の説明として最も適当なもの」

R_EMO 登場人物の心情の把握

- 「心情はどのようなものか」。選択肢が「～という気持ち」「～と思っている」「～と思い至った」「～を感じ取った」「～をどのような思いでうけとめたのか」

R_INT 筆者の意図・主張の把握

- 「筆者は何を意図しているか」「筆者の主張として適当なものを選び」 など

R_EXA 実例を挙げる問題

- 「～とはどういうことか。その具体的な説明として適当なものを選び」
- 本文中で言われていることからの判断、あるいは真偽の判断ではなく、一般的な知識を必要とするもの。本文中での一般的な命題と、本文とは関係ない具体的な命題との関係づけなども含む

R_SUM 文章（あるいは文章の大きな一部）の内容要約・内容説明

- 「本文の内容に合致するものを選び」「本文において「私」が考える芸術の世界とはどのようなものか」など

R_O その他の読解問題 *ゼロではなくてアルファベット大文字の O

6. 文章のメタな特徴の理解を問う問題（複数選択可）

ST_1 文章構造、構成（段落間の関係づけ含む）

ST_2 表現の効果

ST_3 文体の特徴

ST_4 筆者の意図（引用の理由など）

ST_O その他 *ゼロではなくてアルファベット大文字の O

7. 解釈、翻訳のための知識を問う問題

TSC 書き下し文（漢文）：返り点に従った読み下し方、返り点の付け方 など

TSL 解釈、現代語訳

8. **LIT** 文学史に関する知識を問う問題

9. **POE** 詩・歌に関する知識を問う問題

10. **Other** その他

2.3.3 英語

英語問題の **knowledge_type** 属性は、以下の赤字で示された値から、該当するものをすべて指定しています。

1. 辞書的知識

PRN 単語の発音・アクセント

IDM 熟語の知識

SEL 単語・熟語の選択制限 (**selectional restriction**; どのような表現と共起できるかなど)

DIC_O その他の辞書的知識 (*ゼロではなくてアルファベット大文字の O)

2. **EG** 文法的知識全般（構文の意味含む）：（例）（文法的知識を必要とする穴埋めや、文法に基づく並べ替え問題（単語レベルの並べ替え））
3. 談話レベルの自然さの判断
フォーカス
 - FOC_1** どこにフォーカスを置くかを問う問題
 - FOC_2** 下線部にフォーカスを置いた場合、どんな意味になるかを問う問題
- DIS_W** 最も適当な表現の選択（主に穴埋め）：
 - （例）助動詞の時制選択（will か would か would have か）、適切な接続詞の予測など
- DIS_S** 最も適当な文の選択、文レベルの並べ替え
4. 文章読解（文章からの推論必要）リスニング含む
 - R_QA** 文章内容に対する Q&A
 - R_ENT** 本文の内容と合致するものの選択
 - R_SUM** 文章の要約問題
5. グラフ・図・写真、表の読み取り (Interpretation of Graphics)：グラフや図、写真、表から情報を読み取らなくては答えられない問題。
 - 「この表についての記述として正しいものはどれか」「このグラフから読み取れることはどれか」「図を参考にしながら答えよ」と明記されている問題に以下の IC_G, IC_P, IC_M, IC_T, IC_O のいずれかを指定。ただし、問題を解くにあたって明らかに関係のない画像であると思われる場合を除く。
 - IC_G** グラフの読み取り
 - *縦軸と横軸に「時間」「距離」などの意味が明記されているものに限る。
 - IC_P** 写真の読み取り（絵画、ポスター、文書の写真なども含む）
 - IC_M** 地図の読み取り
 - IC_T** 表・年表の読み取り。画像形式でない表も含む
 - IC_O** その他、概念図など。*ゼロではなくてアルファベット大文字の O
6. **GK** (General Knowledge、一般的知識)：上記以外の知識が必要なもの。たとえば一般的な知識（教科書に書いていない世界知識や日常生活における知識）が必要。
 - （例）長く座った後でするべき行動は stretch か lay か（常識レベル）、クローゼットの中では服は hang されるのか fold されるのか（常識レベル）、乳歯が抜けた後に永久歯が生える、買い物でお金を渡した後にレシートをもらう、など
7. 翻訳問題
 - TR_EJ** 英語から日本語への翻訳
 - TR_JE** 日本語から英語への翻訳
8. **COMP** (Composition) 英作文（英訳の場合は含まない。英訳は TR_EJ を使う。）
9. **Other** その他